はつらつ体験塾　通信

令和７年度　第１回フレンドリーキャンプ号　　令和７年６月２７日

新潟県少年自然の家

梅雨空に負けず、みんなで協力して活動しました

６月 14 日（土）･15 日（日）に、新潟県少年自然の家を会場にして、第１回はつらつ体験塾フレンドリーキャンプが行われました。小・中学生 21 人、学生ボランティア５人が参加したキャンプの様子をお知らせします。

６月 14 日（土）

13:00	13:30	13:40	14:00	14:30	15:30	16:00	17:30	18:30	19:30	21:30
受　付	出会いのつどい	出会いのレクリエーション	オリエンテーション	館内 POL	ベッドメイキング	館内チャレンジ	夕　食 休　憩	グラスキャンドルファイア	お風呂 自由時間	就　寝

朝からの降雨で、登山道が悪路になることが予測されましたので、当所予定していた要害山登山を中止し午後の活動を変更しました。要害山登山の代わりに自然の家で人気の館内ゲームを実施しました。

〇出会いのレクリエーション

セブンイレブンじゃんけんを行いました。出せる指の数は、「２」「３」「４」「５」で、２人の指の数の足し算が「７（セブン）」になれば成功です。「セブンイレブンじゃんけんぽん」の掛け声でじゃんけんをします。全員と成功するまでチャレンジは続きます。じゃんけんを通じて、少しずつですが全員と関わることができました。じゃんけんに成功し、喜びを分かち合うことでお互いの関係性が深まりました。勝ち負けのない幸せなじゃんけんが最高の出会いのレクリエーションになりました。

〇館内 POL（フォトオリエンテーリング）

館内を写した 18 枚の写真を頼りに館内各所にあるチェックカードを探して、暗号文を解いていくゲームです。今回は、難しいバージョンにチャレンジしました。活動班で協力しながら、次々とチェックカードを見つけていきました。最後にすべての文字を組み合わせた暗号を解いたときに、全員で喜ぶ姿が見られました。１位の班は、スタートから 34 分でゴールしました。暗号の解読に時間がかかる班もありましたが、全部の班が一時間以内にゴールしました。

〇館内チャレンジ

館内にある８つのチャレンジを班の仲間で協力してクリアして、暗号文を解き、最後に宝箱を開けるゲームです。館内 POL 以上に協力しなければ、チャレンジをクリアすることができません。暗号を解いた後に、宝箱を開けるためのクイズにチャレンジします。宝箱の中身は、冷えたスポーツドリンクでした。蒸し暑い館内で汗をかきながら積極的に活動した参加者には最高のご褒美でした。仲よく美味しそうにスポーツドリンクを飲む姿が印象に残りました。

〇グラスキャンドルファイア

夕食後に活動班ごとに集合して、グラスキャンドルファイアを行ないました。一人一人が自分のグラスに水を張るところから始めて、ろうそくを浮かべて火をつけました。きれいな火を見つめながら、素直な気持ちになり、今日の活動の振り返りや同じ活動班の友達の良い所などを語り合いました。また、明日の活動で楽しみなこと、頑張りたいことも発表して、前向きな気持ちを共有しました。参加者の中に誕生日の人がいたので、全員でバースデイソングを歌って誕生日のお祝いもしました。

6月15日（日）

6:00	7:30	9:00	12:20	13:00	13:15	13:30
起　床	朝　食	カヌー・海遊び	昼　食	ふり返り	別れのつどい	解　散

〇海遊び

二日目も天気は回復せずに、梅雨空の中でのスタートとなりました。前日の屋外での活動が変更になったので、多くの参加者が楽しみしている外での活動（カヌー体験と海遊び）ができるかどうか心配になる空模様でした。カヌー体験は、ダムの放水量が多く中止となり、全員で海遊びをすることになりました。

海遊びは、最初に身支度から始めました。所員の説明を受けて、正しくライフジャケットを着用してカヌー艇庫から荒井浜までゆっくり歩いて向かいます。荒井浜に到着したら、砂浜に落ちている珍しいものを探しながら歩きます。じっくりと探した結果、貝殻や珍しい色や形の石、シーガラス、コウイカの骨などを見つけました。その後、全員で集合して、サンドアート制作に入りました。散策で見つけたものは、サンドアートの大切な素材になります。全員で協力して、底が抜いてある大きなポリバケツや小さなバケツ、オイル缶などを利用して大小さまざまなサンドアートの土台を作ります。大きなポリバケツに砂や海水を入れるのは大変な作業です。砂を運ぶ人、砂をポリバケツに入れる人、海水を運ぶ人、全員で効率よく分担しながら作業をしなければ前に進みません。参加者の様子を見ていると、お互いがコミュニケーションを取りながら、土台をつくるために手分けをして作業を進めていました。土台を作った後は、大きな山をデザインしていきます。有名なテーマパークにあるような山の形に似せて砂を削り、溶岩が出るような穴を開けたりしました。また、小さな山には、海岸散策で拾ってきた貝殻などをのせてデコレーションしました。小雨が降る中での活動でしたが、全員で仲よく楽しく元気よく活動することができました。

梅雨空の中での二日間でしたが、蒸し暑さや雨にも負けず、参加者の笑顔があふれる楽しいキャンプとなりました。天候不順による急な予定の変更があっても、前向きに協力して活動することができました。学生ボランティアの皆さん、保護者の皆様のご協力があり、今回のはつらつ体験塾も大成功を収めることができました。ありがとうございました。

はつらつ体験塾担当：保坂吉彦・須田洋介